

12月議会提出議案の審議から 平成十七年度一般会計・特別会計予算確定される。

十二月定例議会は、八日から二十七日までの日程で開催されました。議案は平成十七年度一般会計、特別会計予算の認定と、病院事業会計補正予算、温泉事業会計補正予算、水道事業会計補正予算等が上程され認定された。

この他今まではない十八議員が一般質問を行い、それぞれ合併後の仙北市に関する課題や、農政、教育、福祉問題などに論戦を交わした。

一般質問



新市の将来像について 北東北の観光拠点都市とは？

田口 達生 議員



質問

初代市長として仙北市の将来像。特に『北東北の観光拠点都市』についての理念、構想を承りたい。

市民の眼には漠然としたものにしか映らない。合併協が作った『観光産業を活かした北東北の…』の理念は私の考えからすれば『自然を活かした北東北の…』とすべきものと思うがどうか。観光産業を狭義にテーマとするのは不自然ではないか。

自然：田沢湖、山岳と高山植物、広葉樹林、農村風景
歴史と文化：武家屋敷、榊細工、芸術村活動、などなど
教育・福祉・スポーツ：市民参加の活動。

これらをトータルに包含したものが市建設計画の表題とすべきでないか。

角館南高校に観光学科（仮

称）を作るべきと思うがどうか。

今後プロジェクトチームを立ち上げ、計画の再点検、リフォームが重要と思うがどうか。

市長

新市建設計画のテーマがおかしいと言われたが『観光産業を活かした北東北の拠点都市』は合併協議の早い段階で決定されたものでこれを踏襲して参りたい。

仙北市は観光資源が多く知名度も高い。観光に役立つ実力もある。他にないもの、自然景観だけで無い文化、歴史も又同様である。

『北東北の観光拠点都市』でなく、『北東北の交流拠点都市』と考えて広く人、物、文化の交流の拠点と致したい。観光産業はその一つの手段であり得る。

北浦地域は昭和の大合併では行政区画が違ったが平成の大合併で一つになれた。

職員は既に一つの組織として実践している。建設計画に秘策は無く堅実に。年度内に